

学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ 不安や困りごと、ありませんか？



学校に行きたがらない



- 学校から帰ってくるといつも疲れている
- 学校に行こうとすると頭やお腹が痛くなる
- 家や自分の部屋から出たがらない

「症状が重くなる前に、早めに相談してくれていたら…」
と思うこともあります。



小児科医



子どもへの接し方が分からない



- 子どもに学校に行くよう働きかけてよいのか
- 家庭学習を続けるべきか
- 学校に行かない理由を聞いてよいのか
- 誰にも相談できない
- 理由を聞いてもよく分からない／答えたがらない



心配な状態が続いている



- ゲームやSNSに没頭して昼夜逆転している
- 学習の進度が遅れ、学校の授業についていけない
- このままでは、将来、進学や就職できないのでは

一人で悩まないでください。

不登校は誰にでも起こり得ることです。
お子さんや保護者の方の周りには、学校・教育委員会などの様々な支援の輪が広がっています。このパンフレットでは、不登校等学校が苦手なお子さんの保護者の方の相談先などについてご紹介します。

教室や家庭以外にも

多様な学びの場や支援の仕組みがあります。

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。

お子さんが学校に行きにくい状況等が続く場合や学習や生活に不安がある場合は、まずは、学校・教育委員会までご相談下さい。

学 校

学校生活の悩みや児童生徒のペースに合わせた学習方法・サポート等についてご相談下さい。学校内に落ち着いて過ごせる場所や相談に乗ってくれるPEACEサポーターがいます。また必要に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携します。また、学校外の学びの場や相談機関を紹介することもできます。

PEACEサポーター

全小中学校にPEACEサポーターを派遣しています。校内サポートルームや教室等でお子さんのペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートをします。校内サポートルームは、学校には行けるが、自分のクラスに入ることができない場合や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスした時に利用ができます。

スクールカウンセラー

児童生徒の心のケアや、ストレスへの対処法等心理の専門家で、教育委員会から学校に配置される方のことです。公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方が多いです。

スクールソーシャルワーカー

児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続きの補助などをしてくれたりする福祉の専門家で、教育委員会から学校などに配置される方のことです。社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。

教育委員会

教育相談（学校支援課）

学習や親子の対応について指導主事(小中学校教員経験者)が相談を行います。電話でも面談でも対応できます。

☎学校支援課 0797-38-2143



紹介・接続

のびのび学級

学校が苦手なお子さんのために、学校より授業時間数が少ないなど、柔軟に学ぶことができる教室(小・中)のことです。見学することもできます。(事前予約)



☎のびのび学級
0797-23-8567

カウンセリング センター

お子さんの特性や親子の対応について専門のカウンセラーが相談を行います。電話でも面談でも対応できます。



☎カウンセリングセンター
0797-23-5998

特別支援教育センター

集団に入りにくい、感覚が過敏である等、お子さんの発達特性や親子の対応について特別支援教育の視点から相談を行います。電話でも面談でも対応できます。



☎特別支援教育センター
0797-31-0654
保健安全・特別支援教育課
0797-38-2144

若者相談センター 「アサガオ」

不登校やひきこもりについて専門のスタッフが相談に応じます。電話でも面談でも対応できます。「親の会」も開催しています。



☎アサガオ
0797-22-5115
青少年愛護センター
0797-31-8229